

令和２年度門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会（二次審査）議事録

開催日時 令和２年２月21日（金）午前９時50分～午前12時30分
開催場所 門真市民プラザ４階 門真市教育センター 研修室A
出席者 （委 員）杉本委員、脊戸委員、鈴木委員、明淨委員、
三村委員、峯松委員
（事務局）植原教育センター長・今井学校教育課副参事
石原学校教育課副参事
内 容 開会、審査方法説明、プレゼンテーション審査、集計、審査結果の
報告、総合評価、閉会
傍聴定員 ー （非公開のため）
担当部局 （担当課名）教育部 学校教育課 門真市教育センター
（電 話）072-887-6715

【事務局】

ただ今より、第２回門真市英語教育活動事業派遣 事業者選定委員会を開催いたします。

初めに、第１回の議事録のご確認をお願いします。お配りしました議事録（案）をご覧ください。お時間があるときに、目を通していただき、修正箇所等がございましたら、教育センターまでご一報ください。

開催に先立ちまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、「議事次第」です。

次に資料１「一次審査結果」でございます。

資料２「二次審査予定表」でございます。

資料３「二次審査評価基準表」でございます。

資料４「質問一覧表」でございます。

最後に二次審査における審査表でございます。

お手元のない資料はございませんでしょうか。

本日、委員６人中６人が出席されておりますので、この委員会は成立していることを報告いたします。それでは、この後の議事運営を委員長にお願いしたいと存じます。委員長、よろしくお願いいたします。

<委員長>

それでは、令和2年度門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会を開会します。
それでは、案件2「プレゼンテーション審査」の方法等について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

二次審査の方法等について、事務局よりご説明いたします。
資料2「二次審査予定表」をご覧ください。本日は、プレゼンテーション審査である二次審査を行っていただいた後、一次審査と二次審査を合わせた得点上位者を門真市英語教育活動事業派遣事業候補者に決定いたします。二次審査につきましては申請順にA社、B社、C社、D社の順にプレゼンテーション審査を行います。プレゼンテーション審査では、申請団体から門真市英語教育活動事業派遣に関するプレゼンテーションを15分以内で行っていただきます。その後、10分間程度の質疑応答の時間をとらせていただきますので、委員の皆さんからは活発に質問をお願いいたします。審査表の回収は全ての申請団体のプレゼンテーションと審査の終了後に行います。事務局で得点の集計を行い、その後、派遣事業者を選定するための総合評価を行っていただきます。

以上で、第二次審査の方法などについて説明を終わります。

【委員長】

ただいま、事務局より第二次審査の方法等について説明がありましたが、ご意見、ご質問はございませんか。皆様、よろしいでしょうか。
それでは、これからプレゼンテーション審査に移らせていただきますので、申請団体を入室させてください。

《A社 入室》

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了3分前と1分前に合図をいたします。15分後に合図をしましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が派遣事業者として門真市英語教育活動事業を行っていただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《A社 プレゼンテーション》

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。委員の皆様よろしく願いいたします。

【委員長】

企画提案書とプレゼンテーションを拝見いたしましたが、学校現場に対応できる人材と言うところに力点を置かれていますが、その中でも重視されている点を3つくらいお聞かせください。

【A社】

まず一つは指導経験です。NETとしての指導経験だけでなく、門真市の学校の規模や学校の状態に応じた指導ができるということです。配置段階でマッチングとすることをしています。人材のデータベースの中から機械的に選ぶのではなく、指導経験と配置先が合うようにします。

二つ目は日本語能力です。中学校の配置が基本でその他小学校・幼稚園・保育園・こども園への配置と言うことですが、中学校現場では日本語能力を重視していない学校が多いかもしれませんが、やはり子どもたちのつぶやきを拾ったり、何を話しているのかを理解した上で指導を進めていくのがいいと考えています。打ち合わせができるレベルの日本語能力が必要だと思います。

三つめは授業外の活動です。授業の中だけでは、英語でのコミュニケーションが十分だとは言えません。給食の時間やクラブの時間など、勤務時間内でできる限り、こどもさんとの時間を作れる人材の配置を考えております。

【委員長】

指導経験が大事だとおっしゃっていますが、企画提案書であげられている人材を配置予定と考えてよろしいでしょうか。

【A社】

そこに挙げている人材を含め、大阪府内で約1500名ほどが登録していますので、その中からと考えております。

【委員長】

少し気になったのが、見積金額の内訳の中に、ビザの取得費用と記載がありました。指導経験がなくまだ海外にいる方が新たにビザを取得して指導するということを考えておられるということですか。

【A社】

いえそれは考えておりません。
管理と更新の費用です。

【委員】

本市の学力にはかなりの課題があるのですが、とりわけ英語に関して学力向上や学習意欲の向上に関してのお考えをお聞かせください。

【A社】

授業の中で教えられる部分と言うのはそんなに多くないと思います。自習の場面で英語を取り入れてもらえるように先生方と話したり、授業外の場面で英語に触れる機会を作れるようにと考えております。その他に英検に関するサポートをしています。1次試験のサポートをしたり、2次試験の面接の練習をしたりしています。要望があればお手伝いさせていただきます。

【委員】

中学校のカリキュラムやLESSンプランが企画提案書にあまり載っていないのですが、オリジナルで作成している者があるのでしょうか。

【A社】

アクティビティ集はございます。それと、NETには教科書の内容の英語版、文法事項がのっているワークシート集を持たせており、先生方からのご希望があったときに提案できるようにしております。

【委員】

それはすべての教科書会社に合わせたものがあり、すべての文法事項のワークシートがあるということですか。

【A社】

おっしゃる通りです。

【委員】

採用のところで、「好きになってもらえる先生」ということが記載されていますが、具体的にはどのような人材ですか。

【A社】

面接や書類選考でいろいろな人が関わっております。その人たちが一緒に働きたいな

と思える人材であることが一つポイントかなと思っております。連絡の対応の仕方
や、電話対応などで相手意識があるかどうかでみています。

【委員】

教員研修についてですが、校内研修にも集合研修にも対応可能でしょうか。

【A社】

可能です。会社主催の研修に先生方に来ていただく研修と、学校に赴いて行う研修が
あります。本年度いただいた要望としては、新学習指導要領に沿った授業づくりだと
か、模擬授業をしてほしいとか、スモールトークの提案・支援などがありました。
校内研修では学校からの要望に合わせて実施します。

【委員長】

それでは、時間が来ましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきましては
は、3月の第一週に通知させていただきます。ご苦労様でした。

《A社 退室》

《B社 入室》

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに15分以内でプレゼ
ンテーションを行ってください。終了3分前と1分前に合図をいたします。15分後に
合図をしましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員
から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容
は全て記録され、貴団体が派遣事業者として門真市英語教育活動事業派遣を行ってい
ただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それでは、プ
レゼンテーションを始めてください。

《B社 プレゼンテーション》

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。

【委員長】

今回の提案で重視された点を3つ教えてください。

【B社】

一つ目は、教員研修の充実です。先生たちにもNETとのかかわりの中で気づきや英語に対する姿勢を改めて考えてもらい、わが社が企業と作り上げてきた研修を肌で感じてもらいたいです。次に、企画提案書にも書きましたが、学校現場以外での活動です。チャレンジテスト等の結果を耳にはしていますが、なんとかしたいと思い、学校外でも英語を使う機会を作り、家族を巻き込んで取り組みたいです。

3つ目は、生徒のレベルに合わせた指導ができるようにCAN-DOリストの作成、評価表の作成に取り組んでまいりました。先生と足並みをそろえ、先生方がどのような授業をしたいかをNETがどれだけ理解しているのか、共通の指標を持つことが大事と捉え整備しております。

【委員長】

配置予定者については、どのような人材をお考えですか。

【B社】

講師歴は3年から5年目を考えております。他市の評価に関しましても、献身力のある講師を配置予定にしております。日本語能力もN3以上です。

【鈴木委員】

小学校の英語では、領域で「読む」「書く」が新しくできましたが、できることでお考えはありますか。

【B社】

文科省の新学習指導要領にのっとり、「書く」ことに関しては、聞いたものを認識してなぞり書きするであったり、既習の文章をアクティビティの一つとして「書く」、そして「読む」ことにつきましては、Here We Go!のストーリー性を大事にしながら、まず画像でとらえていくもしくは教科書を使用し、ストーリーで理解していく取り組みをしていく予定です。

【委員】

採用時の研修の総時間数はどのくらいですか。

【B社】

トータルで40時間から50時間です。

【委員】

他市や他府県で長期契約されているようですが、その中で学力向上につながった好事例があったら教えてください。また、それを門真でどのように生かせるかも教えてください。

【B社】

I市とは25年の付き合いになりますが、教育特区、特例校の指定を受けて取り組む中で、g-techに組み、「聞く」の部分で成果が出ております。4技能の全体的なところを見ても、全国平均以上の得点が出ているというところから児童への浸透ということと、NETと現場の教員がスコアを指針に成果や課題が共有できたので改善できるように努めております。「聞く」での成果と「書く・話す」では課題がみられました。平均以上とは言えアウトプットでの課題が見られました。

【委員】

幼稚園・保育園・認定こども園では授業よりも遊びの中での触れ合いを考えていますが、どうお考えですか。

【B社】

保育園に関しては、保育の中で一緒に園庭で遊んだり、朝声をかけるだけでも一つの活動になります。すこしでも触れ合う機会をつくり、やり取りができるようにと考えております。

幼稚園に関しては、私学の幼稚園への派遣経験がありますが、幼稚園のニーズに合わせて、少し学びから単語が出て真似するような授業を組み立て、体系を立てて授業していくことを考えております。

【委員長】

それでは、時間が来ましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきましては、3月の第一週に通知させていただきます。ご苦勞様でした。

《B社 退室》

《C社 入室》

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了3分前と1分前に合図をいたします。15分後に

合図をしましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が派遣事業者として門真市英語教育活動事業派遣を行っているに当たり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《C社 プレゼンテーション》

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。

【委員】

現場への視察の回数と保育園・幼稚園・こども園への教材・教具の準備はNETの方がしてくださるのか、園がするのかを教えてください。

【C社】

園用のLESSプラン集を用意しています。なお、講師や学校園とはオンラインでつながっていることで共有できるシステムとなっております。年間を通してどのカリキュラムにするかを提案できるようにしております。園の要望に合わせてカリキュラムを作成することも可能です。また、訪問の回数ですが、来年度は園にも力を入れて訪問させていただこうと考えております。全校の訪問を考えております。学期に何回と言うよりは、経験に合わせた訪問を考えております。

【委員長】

新しい提案として3つありましたが、確実に実施していただけるのでしょうか。また、校内研修に関してはどのくらいの頻度を想定されていますか。

【C社】

もちろんでございます。提案させていただいたものに関しましては、費用に入っております。校内研修ですが、基本的に配置しているNETを活用した研修を考えております。年間を通じた研修プログラムメニューがありまして、月1回程度の頻度でご提供させていただけるものとなっております。

【委員長】

今年度講師の交代がありましたが、なぜそうなったのか、採用段階では見抜けなかったのですか。

【C社】

ご迷惑をおかけいたしました。講師の体調のことでしたので、採用時には予期できない部分でした。今年度の経験を踏まえ来年度は、現在高評価をいただいております講師は継続して配置したいと考えております。

【委員長】

継続して2名は配置していただくということですが、もし来年度も契約していただくことになれば、残りの1名に関しても十分な配慮をお願いしたいと思います。

【C社】

今年度のことを受け止めた上でしっかりと配置させていただきます。

【委員長】

来年度からメンター制度を導入されとお聞きしましたが、具体的にはどのような制度ですか。

【C社】

エリアごとにヘッドティーチャーを置いていますが、経験豊かなヘッドティーチャーがメールや電話連絡をすぐにとれるようにしています。

【委員長】

その連絡は頻繁にとれるということですか。個人的な接触があるということですか。

【C社】

そうです。日常的な悩みだとかを聞いたりもします。業務面とプライベート面の両面をみていきます。メンタル的なところを見ることで業務に支障がないように努めます。

【委員】

中学校は隔週配置なので、コミュニケーションの間が空いてしまうことにはなりますが、具体的な対策としてどのようなことをお考えですか。

【C社】

今年度も実際の配置校から次の週の配置校に連絡したり、実際空いた時間に赴いたりして打ち合わせをしておりました。また、小学校においては、NETと学校にチームティーチング用の指導案を渡していますので、どのUnitかだけを教えていただくことで当日にはスムーズに授業ができるようになっております。

【委員】

学校訪問の回数が具体的に記載されていませんがお聞かせいただけますか。

【C社】

学期に一度は必ず訪問いたします。NET によって課題が見られた場合は頻度を増やして訪問いたします。

【委員】

幼稚園・保育園・こども園において、LESSンプランはあるとおっしゃっていましたが、今年度 NET が来られた時に何も持たれていなかったことがあったのですが、NET にきちんと伝えていただけているのですか。

【C社】

失礼いたしました。基本的には教材はこちらで準備いたします。はさみや紙は準備していただくことがありますが、絵本やピクチャーカードはこちらで用意いたします。

【委員長】

それでは、時間が来ましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきまして、3月の第一週に通知させていただきます。ご苦労様でした。

《C社 退室》

《D社 入室》

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了3分前と1分前に合図をいたします。15分後に合図をしましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が派遣事業者として門真市英語教育活動事業派遣を行っていたかあたりに遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《D社 プレゼンテーション》

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。

【委員長】

教員研修を集合研修年間 6 回は現実難しいかと思いますが、そこは臨機応変に校内研修に対応したりしていただけるんですか。

【D社】

そのとおりです。回数を設定させていただいておりますが、校内研修に切り替えることは可能です。

【委員長】

学校訪問が年 2 回と記載があるのですが、最低でも学期に 1 回なので年 3 回が基本ではないではないでしょうか。

【D社】

大変失礼いたしました。学校訪問は学期に 1 回、年 3 回をお約束いたします。提案書に記載いたしました授業観察は別のものと考えております。

学期に 1 回の訪問と毎月 1 回の学校へのヒアリングも行います。その時点で課題や問題がありましたら、その都度訪問するようにはしております。

【委員】

小学校で「読む」「書く」が入ってきますが、具体的に何か手立てはお考えでしょうか。

【D社】

門真市は **Here We Go!** を採択されたとお聞きしておりますが、まだ教科書が手に入っておりませんが、**We Can** と各教科書との対照表は手に入っておりますので、そちらを活用した構成表の作成をしております。そして、「読む」「書く」ですが、ワークシートや指導の仕方の研修を NET にはすでに実施しております。ワークシートの提供はさせていただきます。教員研修で使用していただくことも可能です。

【委員】

門真市に配置する予定の 3 名について日本語能力と指導経験をお聞かせください。

【D社】

日本語能力は園・小学校については上級の NET を、中学校については発音や指導力重

視の NET をと考えております。指導経験がない NET の配置は考えておりません。

【委員長】

今のところで追加すると、門真市では中学校を中心とした配置になりますが、3 名とも中学校の経験者が望ましいのですが。

【D 社】

中級レベルの日本語能力にはなりますが指導力重視での配置をさせていただきます。

【委員長】

指導案の提供をしながら現場の先生方にこういう指導案でお願いしたいという話がありましたが、アイデアとしては理想的でいいと思いますが、学校現場の実態やこどもの様子がありますので、学校との整合性について十分な配慮をしてほしいです。

【D 社】

実際に現在契約していただいている自治体に関しても、使っているところと参考にさせていただいているところがございます。学校のスタイルに合わせ先生の要望に沿えることを前提しておりますが、小学校に関しまして教科化されましたのでただ楽しいだけの授業ではいけないと思っています。なので、そうならないように参考にいただきお使いいただければと考えております。

【委員長】

それでは、時間が来ましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきまして、3 月の第一週に通知させていただきます。ご苦労様でした。

《D 社 退室》

【委員長】

これより審査について意見交流を行いたいと思います。何かご意見や確認したいことはございませんでしょうか。

【委員長】

特にないのであれば、審査表の最終確認をしてください。

【委員長】

審査表はどういたしましょうか。

【事務局】

それでは、確認済みということですので審査表を回収し、集計を始めます。

《回収・集計》

【委員長】

それでは選定委員会を再開いたします。まず、事務局から集計結果について報告をお願いします。

【事務局】 それでは、第一次審査との総合得点での集計結果について報告いたします。

第1位は、「株式会社 インタラック関西東海」で、総合得点が155.5点です。

第2位は、B社で153.5点です。

第3位は、C社で143.5点です。

第4位は、D社で142点です。

以上で集計結果の報告を終わります。

【委員長】

それでは、総合評価に入りますが、この集計表やご報告のありました結果について、何かご意見のある方はありませんでしょうか。

【委員長】

2位と僅差ではありますが、妥当な形かなと思います。

【鈴木委員】

インタラックでよいとは思いますが、人材については先程約束していただいたことを着実に守っていただきたいと思います。

【委員長】

そうですね。学校現場に即した配置をしていただきたいと思います。

【委員長】

それでは皆様、よろしいでしょうか。それでは、平令和2年度門真市英語教育事業派遣事業候補者を「株式会社 インタラック関西東海」とし、もし、この団体が派遣事業に指定するのに著しく不適当な事由が生じた場合は、2位の「B社」を派遣事業候

補者とします。

最後に、今後のことについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、今後についてご説明いたします。

まず、本日の総合評価の結果を、申請団体に対して、郵送にて通知いたします。併せて、市ホームページにて選定結果を公表いたします。委員の皆様におかれましては、ホームページに公表される3月の第一週までは審査の結果について口外されませんようお願いいたします。

次に、会議録の公開については、派遣事業候補者が公開された後にしたいと考えておりますので、今後、御発言の箇所の確認をお願いいたします。

【委員長】

只今、事務局より今後のことなどについて説明がありましたが、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。なければ、以上をもちまして、令和2年度門真市英語教育事業派遣事業者選定委員会を閉会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。

【事務局】

大変お忙しい中、御参集いただき、誠にありがとうございました。